

平成24年12月和水町議会臨時会会議録

平成24年12月25日和水町議会第3回臨時会を議場に招集された。

1. 平成24年12月25日午前10時00分招集

2. 平成24年12月25日午前10時00分開会

3. 平成24年12月25日午前10時54分閉会

4. 会議の区別 臨時会

5. 会議の場所 和水町役場議場

6. 本日の応招議員は次のとおりである。(14名)

1 番 蒲 池 恭 一	2 番 豊 後 力	3 番 中 村 一 博
4 番 古 閑 修 一	5 番 荒 木 政 士	6 番 松 村 慶 次
7 番 小 山 暁	8 番 高 巢 泰 廣	9 番 荒 木 拓 馬
10 番 杉 本 和 彰	11 番 杉 村 幸 敏	12 番 笹 渕 賢 吾
13 番 庄 山 忠 文	14 番 多 賀 勝 丸	

7. 本日の不応招議員は次のとおりである。(0名)

な し

8. 本日の出席議員は応招議員と同じである。

9. 本日の欠席議員は不応招議員と同じである。

10. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事 務 局 長	笠 輝 博	書 記	前 田 聡 子
---------	-------	-----	---------

11. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町 長	坂 梨 豊 昭	副 町 長	井 上 國 雄
教 育 長	井 上 忠 勝	総 務 課 長	今 村 裕 司
総 合 支 所 長	徳 永 壽	企 画 課 長	山 下 仁
兼 住 民 課 長		学 校 教 育 課 長	坂 本 誠 司
建 設 課 長	杉 本 章 一		
社 会 教 育 課 長	有 富 孝 一		

12. 議事日程

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第70号 工事請負契約の締結について

日程第4 議案第71号 工事請負契約の締結について

日程第5 閉会中の継続審査について(議会運営委員会)

開会・開議 午前10時00分

○議長（多賀勝丸君） おはようございます。着席ください。

ただいまから、平成24年第3回和水町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（多賀勝丸君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により、議長において、11番杉村幸敏君、12番笹渕賢吾君を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（多賀勝丸君） 日程第2、会期決定の件を議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思いますが、御異議ございませんか。
（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（多賀勝丸君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間に決定いたしました。

日程第3 議案第70号 工事請負契約の締結について

○議長（多賀勝丸君） 日程第3、議案第70号「工事請負契約の締結について」を議題とします。
本案について提案理由の説明を求めます。

企画課長 山下 仁君

○企画課長（山下 仁君） それでは、議案第70号、工事請負契約の締結について、提案理由の説明をします。

地方自治法第96条第1項第5号及び和水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、予定価格5,000万円以上の契約は、議会の議決を経る必要があります。つきましては、この議案第70号の工事名等について説明します。

工事名は、三加和小学校校舎建築工事。工事場所は、和水町板楠地内。契約金額は、2億6,964万円。契約の相手方は、熊本県山鹿市古閑1029、株式会社本山建設、代表取締役本山幸嘉。契約の方法は、指名競争入札であります。

以上をもちまして、議案第70号、工事請負契約の締結について、提案理由の説明とします。

○議長（多賀勝丸君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

5番 荒木政士君

○5番（荒木政士君） はい、5番です。荒木です。

私は、この工事契約についてというよりも、ちょっと関連しまして、全体についてお伺いいた

します。

まず、この入札によって、三加和校区の学校建設がほとんど終わったかなというふうに思います。今後ですね、どのような工事契約または備品購入等はいろいろあると思いますけれども、企画課、教育課のほうからでもよろしゅうございますので、お聞きしたいと思います。

2点目に、今までの工事契約、土地買収から工事契約いろいろで、総額で今までどのくらいかかっているのか、把握されておればお願いいたします。

また最後に、この工期はいつまでだったか、全協であったと思いましたがけれども、ちょっと忘れましてのお願いいたします。以上です。

○議長（多賀勝丸君）

企画課長 山下 仁君

○企画課長（山下 仁君） まず第1点目の今後どういうのがあるかというようなお尋ねですので、それについてお答えいたしたいと思います。

まず大きなのが、いわゆる今あります中学校の校舎の改築工事が、改修工事がございます。それに関連いたしまして、いわゆる建築と電気とか設備等があります。大きなものはそういうのでございます。

それから、現在までの総額が幾らになるかというようなお尋ねでございますけれども、用地からいろいろありまして、今回71号も含めましてですね、それから電気設備は5,000万以下でございますので、そこまで含めまして7億3,898万4,082円です。

それから、工期というようなことでございますけれども、71号も同じ工期になりますが、一応予定としては、承認いただきますと明日の26日から来年の7月の31日まででございます。以上でございます。

○議長（多賀勝丸君）

5番 荒木政士君

○5番（荒木政士君） はい、よくわかりました。中学校のほうの改築については、私はこの工事に入っているかなと思っておりましたけれども、またこれがやっぱり数千万かかるんじゃないかなと思いますけれども、今までの総計で7億3,800万、概略の予定が10億ですので、とにかく私はこの学校統合に対しては賛成の立場をとってききましたので、菊水校区におきましても今までのいろんな説明がありましたけれども、私はあまり質問いたしませんでした。なぜかという、やはり概略の設計10億と36億、それ以内でいい学校をつくってほしいという、私はそういう考えでおりますので、そういう気持ちでおったわけでございます。工期につきましても7月31日、中学校改築が夏休みからだろうと思いますけれども、立派な学校を造ってほしいなというふうに思います。

私が今日この質問をしましたのは、やはり今から新年を迎えまして、新年のあいさつとかいろいろなところであいさつしますので、今どういう状況にあるかというのをやっぱり私たちも説明しますので、そういうところで聞いたところでございます。以上です。

○議長（多賀勝丸君）

○12番（笹渕賢吾君） いくつかお聞きをします。

まず、今回の入札による落札率ですね、それが第1点。それから、指名競争入札でありますので、指名業者ですね、ほかの業者伺いたい。それから、それぞれの指名業者の資本金ですね、資料があれば伺いたい。それから、その会社の従業員数、これは正規雇用と非正規雇用があるかと思えますけれども、それがわかっていれば伺いたい。それから、学校建設の経験がですね、今回の入札、落札をした本山建設は、恐らくあるかと思いますが、この近辺ではどういった学校があるのか。

それから、木造で今回建設するわけですが、これが地元業者の方にですね、大工さんとか左官さんとか仕事がない状況ですが、こういった地元業者にはどのような形でかわりを持っていくのか、会社のほうとしての方針がどうであるのか、そういったものをお聞きしたい。それから木材をですね、この地元の木材を使うのかどうか。そういった方向に本山建設がどういうふうの方針を持っておられるのか、お聞きをしたいと思います。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 今、数多く内容説明をしろということでございますけれども、部分的に業者の選考あたりには私も携わっておりますので、説明をしたいと思います。

今回のこの学校建築、校舎・体育館につきましては、それぞれやはりこの北部、県北です。選定の中には県北を優先的に指名をいたしました。それから、この中にもやはり今日までの実績、先ほども聞かれましたけれども、資本金あるいは従業員、技術者の数等々を勘案しながらこの8社を選出をいたしました。

落札率とか、そういうことについては、担当のほうから説明をさせます。

○議長（多賀勝丸君）

企画課長 山下 仁君

○企画課長（山下 仁君） それではお答えいたします。

まず、落札率ですが、98.063%です。それから本山建設さんがどのようなお仕事をこなされているかということでございますけれども、他町のことはちょっとわかりませんが、旧三加和町時代に交流センターを建築していただいております。

それから、地元の業者とか木材あたりのお尋ねでございますけれども、企画のほうで資料を作成いたしまして、その一覧表を仮契約時に提示したところです。以上でございます。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 資本金のことがちょっと答弁漏れでしたのでお知らせしますが、これは落札者だけでいいでしょう。全部ですか。

（はい。業者名も含めて。）

そうですね、8社全部ですか。

答えていいのかな。落札者じゃないとこれいかなもんかなとちょっと思うわけですが、要請でございますので、お知らせをしたいと思います。

8社の中から順を追って説明をしますと、三和建設さんが資本金が6億7,478万、それから橋本建設、これは小国町ですけど、3億5,298万8,000円、それから光進建設さん、これが23億506万1,000円、それから豊工務店、これは5億3,305万8,000円、それから増永組、2億3,314万1,000円、それから本山建設、1億9,974万4,000円、それから宇都宮建設、これが4億9,179万6,000円、それから小竹組、これが11億6,799万6,000円。以上です。

(従業員数はわかりますか。従業員数は。)

それでは、建設業に従事する職員、それから技術者の数をお知らせいたしたいと思います。順番は先ほどのとおりです。

職員の数が21、それからその中で1級建築、そういう技能者が10名、それと2級のほうが7名、それから橋本さんのほうが、従業員数が17名、それから1級建築士といいますかそれが10名、それと2級が7名、それから光進建設、これは従業員が57名、その中で技術者そういう取得者が25名、それと14名、それから豊工務店、これが26名、従業員がですね。それから技術者が1級が11名と2級が4名。それから、増永組、従業員が34名、それから1級の免許を持っておられるのが8名、それから2級が・・・、増永組と言うたかな、今。

(そうですね。)

8名じゃなくて21名、1級がですね、2級が4名。それから、増永組、従業員が34名、それから1級の免許を持っておられるのが21名、それから2級が4名。それから本山建設、従業員が16名、それから1級8名、2級2名、宇都宮建設、19名、7名、1名。小竹組、従業員が42名、1級29名、2級3名。以上です。

○議長(多賀勝丸君)

12番 笹渕賢吾君

○12番(笹渕賢吾君) 初めて私はこういう質問をいたしました、意外と従業員数とか少ないという状況ですね、指名業者の場合は。それで、今回落札した本山建設については、1億9,000万の資本金で従業員が16名、それから1級が2名ですかね。

(8名。)

8名、1級が8名と、2級が2名ですね。はいはいわかりました。

そうしますと、当然下請けに出すんじゃないかなというふうに思いますけれども、そういう面で先ほどちょっと答弁がわかりませんでした、こういった形で地元の業者を使うような形で、これは指導になるのかお願いになるのかわかりませんが、入札したあとだからですね、本山建設のほうで自由にできるという形に持っていくのかよくわかりませんが、なるべく地元の業者を使うようにしていただきたいと。

それから落札率ですね、これが非常に98.067%ですか、非常に高いですね。一般的には95%ぐらいというふうに言われているようですが、そういう面ではかなり高い状況だというふうに思います。ほかの業者は、まだこれよりも高く金額を出したということだと思いますけれども、全

体的にはあまりにも高いということで、逆に言えば談合の可能性も否定できない部分もあるかと思えますけども、そういった面でのいろんな話とか動きというのはなかったのかどうか、お聞きをしたいと思えます。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） なるべく地元業者への事業の発注をしてほしいということですが、これについては文書でこの落札された会社あたりをお願いをしております。町内業者、それに関係するすべての名前を提示しながらお願いをしているところでもございます。

それから、落札率については、これはもう我々の知る範囲ではありません。指名競争入札でございますので、公平に公正できているものと私は信じております。以上です。

○議長（多賀勝丸君）

12番 笹淵賢吾君

○12番（笹淵賢吾君） 入札率については公平に公正にということで、どういった業者がどういう金額を出したかというのは知る範囲でないと、それはそうだと思いますけれども、そういうことでは、こういう形で2億6,964万円ということで契約をされたということでありますが、この落札率が非常に高いということと、それから木材を是非町内からですね、もしくは町内で調達できない部分は、やっぱりこの近辺で調達をするということがやっぱり大事じゃないかなと思えますし、やっぱりこの地方にあった木材ということであれば、よく外材とか使われますけれども、やっぱり地元のものが一番長持ちするし、頑丈にできるというふうに思えますので、そういうふうにやっていただきたいということ。

それから、この問題では落札率が非常に高いということでは、反対の態度を表明しておきたいと思えます。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 木造建築ということで、地元産を使ってくれというような要望、もともと私たちも最初からそのような気持ちで交渉の中では今日までできているわけですが、受けられた後、どのような結果が出るのかはちょっとわかりませんが、1回はそういう木材業者、製材所業界の人たちが会合をされて、交渉はしておられるというような話は聞いております。以上です。

○議長（多賀勝丸君） ほかに質疑ありませんか。ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（多賀勝丸君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（多賀勝丸君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第70号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（多賀勝丸君） 起立多数です。したがって、議案第70号は、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第71号 工事請負契約の締結について

○議長（多賀勝丸君） 日程第4、議案第71号「工事請負契約の締結について」を議題とします。
本案について提案理由の説明を求めます。

企画課長 山下 仁君

○企画課長（山下 仁君） それでは、議案第71号、工事請負契約の締結について、提案理由の説明をします。

地方自治法第96条第1項第5号及び和水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、予定価格5,000万円以上の契約は議会の議決を経必要があります。

つきましては、この議案第71号の工事名等について説明します。

工事名は、三加和小学校屋内運動場建築工事。工事場所は、和水町板楠地内。契約金額は、2億3,415万円。契約の相手方は、熊本県菊池市限府775、三和株式会社、代表取締役川瀬和洋。契約の方法は指名競争入札であります。

以上をもちまして、議案第71号、工事請負契約の締結について、提案理由の説明とします。

○議長（多賀勝丸君） これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） 先ほどと同じですが、お聞きをします。

まず、落札率、それから指名業者、それから資本金、従業員、それから体育館建設の経験が、この三和建設の場合こういったものがあるか、お聞きをしたいというふうに思います。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） お答えしたいと思います。

業者は選考したのは、先ほどの案件と全く変わりません。資本金も従業員もそれから等級も、すべてにおいて内容的には前回の議案と全く同じです。落札率だけが違うと思いますが、98.063%、じゃない逆でした、訂正します。落札率は97.437%です。

○議長（多賀勝丸君）

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） 三和建設がこの落札をしたということですが、体育館建設について、まずこれは特殊だと思いますので、こういった経験があるのかどうかですね。あればどこを建設したのかお聞きをしたいということと、落札率が97.437%ということであれば、やっぱり95%とい

うのが普通言われてる状況ですけれども、それよりも高いということですが、この入札のときには何ら問題はなかったのかどうか、お聞きをしたいと思います。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 落札率、非常に高いということですが、私たちが口をはさむ範囲ではございませんので、これはもう先ほども申し上げましたとおりでございます。

それから校舎建設、体育館の建設にそういう経験があるかということですが、ここちょっと手持ち資料はありませんので答えようがありませんが、建築、長年のそういう経験の中で、恐らく体育館あたりも経験があるものと思っております。

○議長（多賀勝丸君）

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） この体育館建設については、木造建ての校舎とはまた違った形で建設が進められると思いますけども、これは下請けとかそういったところでは、何らか町の業者とか町の資材とか、そういったものが使われる方向でいくのか。何か先ほど木材業者から、材木業者からも要請があったというような話でしたけれども、この体育館建設については、そういったものがあるのかどうか。町としてはどういうふうに対応されていくのかお聞きをしたいということ、3回目でもありますので、落札率が97.437%ということで、非常に高いということでは、反対の表明をしておきたいというふうに思います。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 材料が材料ですので、集成材といいますか、合体させて、そういう材料の組み合わせで造るということです、その材料にも地元産、なるべくこの和歌山県でできたそういう木材を利用してほしいという旨、先ほど申し上げたとおりでございます。

それから大工さんはどこにか、私たちもそういう経験はありませんので、どこで地元の人たちが対応ができるのか、技術的に能力的にですね、そのへんはわかりませんが、使っていただくところがあれば是非お願いをしたいというのが、先ほども申し上げましたとおりの要望書でもございます。

○議長（多賀勝丸君） ほかに質疑ありませんか。

4番 古閑修一君

○4番（古閑修一君） 4番、古閑です。質問をいたします。

先ほどの校舎の建設2億6,000万、2億6,900万ですね、それから今回体育館のほうは2億3,400万、約、私も素人でわからないんですけど、非常に金額的に建造物それぞれ違うかもしれませんが、普通一般的に体育館建設の場合、それは面積とか何とかで違ってくると思うんですけども、ちょっと一般的考えてちょっと2億3,000万、校舎が2億6,000万、高いのかどうか私もわかりませんが、そういう面で何か説明がお願いできたらと思うんですけども、建造物の違いでこうなるのか詳しく私はわかりませんので、そういう点について、ちょっと学校校舎から

したら異常に高いんじゃないかなという感覚がございますので、よろしくお願いします。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 古閑議員さんよりも私のほうがまだまだわかりませんが、本当、どの程度のやつがどの価格であるのか私たちには見当もつきませんが、それなりに設計の中で積み重ねた案件が、このような金額となっておるのではないかと思います。

また、校舎建設、体育館じゃなくて校舎建設のほうは、まだまだ1期工事が、今の中学校を改修したところに上学年入るわけですから、そのへんでまた学校建築の次の事業のお願いになるかと思いますが、内容的には本当、私も積算はできません。以上です。申し訳ないです。

○議長（多賀勝丸君）

4番 古閑修一君

○4番（古閑修一君） はい、4番です。今、副町長から答弁がございました。積算はできないから、積算の結果がこうなったんだと、それはもうそのはずなんですけれども、せっかく建設課長もおいででございますので、建設課長のほうから何か、そういった面で説明ができる範囲内でしょうか、よろしくお願いします。

○議長（多賀勝丸君）

企画課長 山下 仁君

○企画課長（山下 仁君） この事業はアートポリス事業でありまして、我が町には建築士というのがおりませんので、県の建築家のそっちの詳しい方と常にやり取りしながらやってきておりますし、決して高いという指導は受けておりません。

また、ちょっと先ほどもありましたけれども、これは木造の平屋建ての体育館ですけれども、いわゆる一本取りで大きな柱をとると高くなりますので、いわゆる束ね材、集成材みたいなやつですけどもそういったものを用いることによって、単価が安いようにもいろいろ担当が工夫してきてるところでございます。以上でございます。

○議長（多賀勝丸君）

町長 坂梨豊昭君

○町長（坂梨豊昭君） この資料でお答えします。

確かに体育館が2億4,000万ですか、校舎が2億7,900ということで2億8,000、これを単純に比較しますとえらい体育館は高いなというような、もちろんそう思います。例えば、今度中学校を改築いたしますので、やはりそこらへんがやはり2億数千万のまた工事になりますので、いうならば校舎と一緒に考えますならば、6億弱の校舎というようなふうになります。そうすると体育館が2億3,000万というようなふうに考えれば、ああなるほどかなというにできはしないかなと思います。はい。

○議長（多賀勝丸君）

副町長 井上國雄君

○副町長（井上國雄君） 設計に基づいたそういう金額になっておりますけれども、ちなみに申

し上げますと、合併前に三加和地区で校舎、体育館を4カ所かですね、造ったときにも、ほとんど3億をオーバーしておりました。はい。一応そのへんが基準、私たちの考えとしては基準になるのかなと思います。以上です。

(議長。)

○議長(多賀勝丸君)

建設課長 杉本章一君

○建設課長(杉本章一君) 正直申しまして、私まだこれ図面も何も見てないんですよ。だから、何とお答えしていいかわかりませんが、多分体育館若干H鋼が入ってるんじゃないかなと思うんですよ。だからその分で、小学校は木造で、じゃないかなと思いますけど、全然積算も何も見ておりませんので、その分であんまり金額は変わらないんじゃないかなと思います。内装工事は体育館だからあんまりないんですけどもね。はい、すみません。

○議長(多賀勝丸君)

11番 杉村幸敏君

○11番(杉村幸敏君) 一つは、この前の三加和中学校の体育館の件がございます。三加和中学校の体育館は立派な設計者のもとにできましたが、あとで相当大きなクレームがつくというようなことがございます。今回はプロポーザル、三加和はどういったことでプロポーザルだったかはわかりませんが、今回がプロポーザルで設計ができました。あの設計を聞いてみますと本当に立派な校舎、体育館ができるかと思いますが、このようなことがないように、本当に立派な校舎ができるように、ひとつ工程会議等いろいろあろうかと思いますが、そこらへんで十分、事業者任せではなく、何か問題があるときはやっぱり現場に出向いて行って指導されると思いますが、この前のようなことがないように、ひとつ議会としてもひと口言っとかんといいかんとしますので、よろしくそういうことで工程会議そこらへんで十分検討されるように、一応課長が出られると思いますが、そこらへんを十分検討されまして、立派な校舎ができますように監督方お願いしたいと思います。以上です。

○議長(多賀勝丸君)

企画課長 山下 仁君

○企画課長(山下 仁君) いわゆるこの校舎の建築と屋内運動場建築と併せまして、電気、機械、いわゆる四つの契約からなっていくわけでございますけれども、その四者と一緒に工程会議をやっていくことになると思いますし、御案内のとおりにしっかり工程会議等々を通じて、課題解決に、建設に邁進していきたいと思います。以上です。

○議長(多賀勝丸君)

12番 笹渕賢吾君

○12番(笹渕賢吾君) 確認ですが、契約金額の2億3,415万、これは木造建てで造るということになっているということですね。それで、教育委員会のほうも今日は来ておられますので伺いますが、これまで春富小学校の体育館が三つ改築をされました。合併前ですね。それから、今言われましたように中学校の体育館も建て変わりましたが、金額が1校当たり幾らぐらいになって

るか。小学校の場合ですね、大まかにで結構ですのでお答えいただきたいと思います。

○議長（多賀勝丸君）　しばらく休憩します。

休憩　午前10時40分

再開　午前10時51分

○議長（多賀勝丸君）　休憩前に引き続き会議を開きます。

学校教育課長　坂本誠司君

○学校教育課長（坂本誠司君）　大変ちょっとお手数おかけいたしました。

これまでの三加和区域の体育館の建築費ということで、電気工事あたりを敷設を抜きまして、神尾小学校で約2億8,000万、面積が881平米でございます。春富が2億9,000万、面積が894ということでございます。緑小が2億8,700万ということで、面積が894平米でございます。以上でございます。

○議長（多賀勝丸君）　ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（多賀勝丸君）　質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（多賀勝丸君）　討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第71号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（多賀勝丸君）　起立多数です。したがって、議案第71号は、原案のとおり可決されました。

日程第5　閉会中の継続審査について（議会運営委員会）

○議長（多賀勝丸君）　日程第5、閉会中の継続審査についてを議題とします。

議会運営委員長から、会議規則第75条の規定によって、本会議の会期日程など議会の運営に関する事項について、閉会中の継続審査申出があります。

お諮りします。委員長の申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（多賀勝丸君）　異議なしと認めます。したがって、委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日の会議を閉じます。

平成24年第3回和水町議会臨時議会を閉会します。

御起立願います。お疲れでございました。

閉会 午前10時54分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

和 水 町 議 会 議 長

署 名 議 員

署 名 議 員